

一般社団法人はらいふ  
2018年度事業計画（案）  
(2018年1月1日～2018年12月31日)

● ビジョン(目指す社会)

多様な人々が、認め合い、関わり合いながら、誰もが自分を生きられる社会。

● ミッション(私たちの使命)

- ・人のつながりの中で自分を生きられる場所をつくること
- ・多様な教育を推進し、こども若者の学びの選択肢を増やすこと

● 今年度の方針と組織体制の変更

これまで当団体では「多様な人々が、認め合い、関わり合いながら、誰もが自分を生きられる社会」を目指してきた。その活動は多岐にわたるが、①教育者の主体的な学び育ちを促進する活動（教育事業）。②人がつながり関わり合う場をつくる活動（コミュニティ事業）に大別される。

今年度より当団体は、①を思い切って縮小し、②の活動へと大きく舵を切る。規模は小さくとも人がつながりがあることで、個人の実生活に変化を起こすことができるよう邁進する。具体的には、高槻市原地域の「コミュニティハウスはらいふ」におけるフリースクールの立ち上げに注力し、社会的孤立状態に陥りがちな不登校・高校中退層の10代へ向け、人とつながりながら学びや生活のできる場を運営する。

また組織風土として、活動するスタッフ自身も世間のアタリマエに流されることなく「自分を生きること」を大切にする。プライベートや生活を犠牲にした働き方をしないことや、ゆとりを持ち対話的に物事を進める文化をつくっていくことと、社会をよりよいものにするための活動が両立することを追求する。

上記の方針のため、大きく事業の改編を行う。

また、2018年4月より以下のように登記事項を変更する。

法人名：一般社団法人はらいふ

代表理事：鶴野 嶺（旧姓：木脇）

主たる事務所の所在地：大阪府高槻市大字原91-13

## 【事業内容】

### ●コミュニティハウスはらいふ

「人のつながりの中で、誰もが自分を生きられる場所」をコンセプトとして、空き家を活用した場づくりを行なう。以下、コミュニティハウスはらいふの3つの機能を記す。

#### ①フリースクール

不登校や高校中退によって、居場所や所属がなくなっている10代を中心に据え、既存の学校に代わる学び・体験・人のつながりのある場を提供する。平日週4回の開校、および相談業務を想定。また、経済的な理由で利用料の負担が難しい家庭も通えるようにするための寄付の仕組みづくりを行う。

※詳細は『フリースクールはらいふ説明資料』を参照。

#### ②レンタルスペース

シェアハウスとして2Fスペースをはらいふを共に創っていくメンバーへと貸し出し、多様な人（ゲスト）が楽しくつながれるための場づくりを行う。また、ゲストスペースを解放し、レンタルスペースとしての貸出等を行うことで安定運営のための資金確保を行う。

#### ③企画・イベント

仕事・学び・家族・結婚・ものづくり・食・農・環境・など、生活に関連する様々なテーマを取り扱った企画を、はらいふにつながるきっかけの場として実施する。フリースクールと連動させることにより、生徒の活躍の場をつくることや、社会資源やロールモデルとなりうる人とつながることもねらいつつ企画をコーディネートする。実施頻度は月に2回程度を想定。

### ●教育事業

#### ①フィールドスタディ

教育関係者を対象に、自身の"あたりまえ"とは異なる教育観や実践に触れるために様々な教育現場を訪れる現場視察型研修。2018年3月24日～31日に「オランダ教育視察ツアー」を実施する。なお、今回の企画にて、当法人の行うフィールドスタディ事業は、無期限の休止とする。

#### ②子どもの居場所サポート

大阪市東淀川区より委託を受け、NPO法人関西こども文化協会と共同受託をしていた「地域に開かれた子どもの居場所支援事業」。2018年3月末の契約終了時まで、引き続き子どもの居場所運営団体へのアドバイスや、立ち上げのサポート業務等を行う。次年度、同事業を受託する団体へ丁寧な引き継ぎを行ない、これまでの活動で積み上げてきたことが継続されるよう取り組む。また東淀川地域への子どもの居場所運営団体への学習サポートの派遣活動に関しては今年度も継続して行なう。

※ここに記載のない前年度までの活動は、原則行わない。ただし「エデュコレ-多様な教育の博覧会-」「フィールドスタディ（教育視察ツアー,EDUTRIP）」など、同様の理念や名称で活動を行ないたい団体等があった場合。当団体と運営主体をはっきり分かれていること明記した上であれば、それを妨げることはしない。